

令和8年2月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和8年2月20日(金) 午前9時00分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	小 林 靖 直	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	齋 藤 純 郎	委 員	小 林 恵 子
委 員	上 田 佳 澄	委 員	渡 邊 愛

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	岡 部 清 美	主 幹	長 和 俊
学校 教育 課 長	関 根 幸 子	社会 教育 課 長	石 黒 昭 彦
統 括 指 導 主 事	田 中 辰 弥		

5 本委員会書記

学 校 教 育 課 藤 野 聡 他 2 名

6 傍聴人

2名

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

- 協議第 4 号 分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する方針（案）
- 協議第 5 号 「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について
- 協議第 6 号 新規共催・後援申請について

議案

- 議案第 2 号 燕市教育委員会附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について
- 議案第 3 号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

追加議案

- 議案第 5 号 分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する方針について

その他

- (1) 教員の業務量の適切な管理と健康等を確保するための措置を実施するための計画の策定等について（案）

8 閉会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午前9時00分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和8年1月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈小林教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 年度末、教育現場では、次年度につながる「まとめ」に取り組んでいる。新年度からのステップにつながる有意義な「まとめ」になるよう、支援していく。

2 1月、2月（1月第4週～2月第2週）の行事から

(1) 第18回B&G全国サミット（東京国際フォーラム）【1月23日（金）】

- 市長とともに参加をした。テーマは、「シビックプライド～推し自治体になるために～」。基調講演や事例発表から多くの気づきを得た。

(2) 第19回良寛書道展表彰式（吉田産業会館）【1月25日（日）】

- 特選、準特選に選ばれた計62名の小中学生に表彰状を授与した。展示会場には、大勢の皆様が小中学生の力作に見入っていた。

(3) 燕市スポーツ協会優秀競技者等表彰式（文化会館）【1月25日（日）】

- 全国大会等での活躍やスポーツの普及・向上に貢献された方々に表彰状を授与する場に臨席した。多くの市民の活躍に元気を得た。

(4) 燕市食物アレルギー対応委員会（301会議室）【1月28日（水）】

- 小中学校、児童クラブ、保育園・こども園での対応や取組について協議を行った。引き続き、安全安心な給食の提供に取り組んでいく。

(5) Jack&Betty 教室特別講演会及び閉講式（文化会館）【1月31日（土）】

- 特別講演では、2名の方から英語を学ぶ意義などを語られた。憧れや目標がより具体的になった参加者が多かったようである。

(6) 燕市表彰式（吉田産業会館）【2月1日（日）】

- 受賞された皆様のご功績に深く敬意と感謝の意を表す。また、スポーツ

分野において、全国トップレベルで活躍する皆様から元気を得た。

(7) 第2回 Good Job つばめ実行委員会 (301 会議室) 【2月2日 (月)】

- 来年度も、子どもたちにとって有意義な活動になるよう、市内事業所様のご理解ご協力をいただきながら取り組んでいくことを確認した。

(8) 第2回図書館協議会 (301 会議室) 【2月3日 (火)】

- 今年度の利用状況や事業実施状況の報告のあと、来年度の事業計画について話し合った。来年度も様々な取組を行っていききたい。

(9) 第2回燕市子どもを育む推進協議会 (中央公民館) 【2月3日 (火)】

- 子どもたちの成長にかかわる様々な立場の方々が集まり、「いじめの重大化を防ぐために」というテーマで協議を行った。多様な視点を共有することができた。

(10) 第2回燕市文化会館運営審議会 (中央公民館) 【2月4日 (水)】

- 今年度の利用状況や自主事業の報告のあと、来年度の計画について話し合った。より多くの市民の皆様に満足してもらえるよう取り組んでいく。

3 結びに

- 今年度も残すところ一か月あまりとなった。ご勇退される職員の皆様には、これまでのご功績とご尽力に深く敬意と感謝の意を表す。

○委員 (小林 恵子)

「Jack & Betty 教室 特別講演会及び閉講式」に出席した。2名の方から発表があった。子ども達にとって視野の広がる良い内容であった。

説明資料が想定しない動きをしていたようで、事前に説明資料のデータが起動するかの確認はしていたのか伺う。

○学校教育課長 (関根 幸子)

事前に送信いただいた資料のデータを使用して、会場でリハーサルを行い確認していた。ただ、直前まで資料を精査していたこと、また、会場のネット環境の状況により、想定した動きをしなかったものとする。

(3) 寄附報告

2件の寄附について

〈No. 1 について関根学校教育課長が説明〉

〈No. 2 について石黒社会教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

1 件の共催・後援申請について
〈No. 1 について石黒社会教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 4 号 分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する
方針（案）

〈関根学校教育課長が説明〉

○委員（中野 信男）

分水北小学校は令和 9 年から、島上小学校は令和 10 年から学区外への入学・転校を希望する場合は、学区外就学の申請を受理しないでのよいのか伺う。

○学校教育課長（関根 幸子）

学校統合までの間は、分水北小学校および島上小学校の児童が学区外である分水小学校へ入学等を希望する場合、これまでと同様に、学校教育課へ学区外就学の申請をし、受理することとなる。

○委員（中野 信男）

スクールバスの運行は必要ないのか。

○学校教育課長（関根 幸子）

両在り方検討委員会における検討結果をまとめた意見報告の中に「市への要望」としてスクールバスの運行についての記載があった。スクールバスの運行を含め、「市への要望」として記載があった他の項目とともに、来年度設置予定の「統合準備会」において検討することで考えている。

○委員（中野 信男）

学区外就学を受理した場合、各学校の希望者に対してのスクールバスの運行について伺う。

○学校教育課長（関根 幸子）

学校統合までの間に、分水小学校へ学区外就学を受理した場合の、分水北小学校区および島上小学校区のスクールバスの運行については、ニーズ等も把握した上で、今後、検討していく。

○委員（小林 恵子）

全体の内容は問題ない。記載の表現で「～まいります」という文言が6回使われていて丁寧すぎる印象を受ける。「いきます」という表現でもいいのではないだろうか。

○教育次長（岡部 清美）

丁寧に進めていきたいという気持ちもあるため「～まいります」で表現を統一したい。

○委員（小林 恵子）

1.の3行目と4行目で「～よりよい教育環境等について、ていねいに研究および協議してまいります。なお、その内容については、3 小学校区の保護者や住民へ、ていねいな説明と～」と「ていねい」という言葉が続いているので3行目を、「～について研究および協議を重ねていきます。」もしくは「～について研究および協議を継続していきます。」とシンプルにしてはどうか。

○学校教育課長（関根 幸子）

ご指摘のとおり「ていねい」という言葉が続いているため、1の2行目の「～よりよい教育環境等について、ていねいに研究および協議してまいります。」の「ていねいに」を削除する。

○委員（斎藤 純郎）

分水北小学校と島上小学校の両検討委員会から提出された意見報告にあるように、子ども達の教育環境を考えて複式学級を回避するように、教育委員会として取り組む必要がある。

本方針案は、両小学校が今後、複式学級が見込まれる時期を考慮して、令和11年度から両小学校の中間に位置する分水小学校へ統合することで複式学級を回避するというものであり、統合の時期と統合先は適切であると思われる。

また、両検討委員会では付帯意見として市への要望を提出されているが、本方針案は付帯意見を尊重して1から4を記載し、要望に対応しているため、この点についても適切であり、本方針案にもとづいて統合を進めてほしい。

今後は、教育委員会として、統合に向けて学校、保護者、地域の皆さんと力を合わせて子ども達にとってより良い教育環境を実現していかなければならないと考える。

○委員（渡邊 愛）

保護者や地域、何より子ども達に不安がないように連携するとともに、一人一人が生活の中でも輝いていけるように取り組んでほしい。

○委員（上田 佳澄）

分水地区の在住者として、統合の話を聞き、とても前向きな気持ちが正直なところである。段階を踏みながら、これからの分水地区の子ども達が、伸び伸びと育っていけるような、学校づくりにつなげてほしい。

各学校の教育目標が一つとなった、すばらしい子ども達に育ててもらえるような小学校になることを望む。

○学校教育課長（関根 幸子）

4の1行目「分水小学校の改築等～」について、改築等は即時対応できる内容ではないため、4の1行目「分水小学校」の後に、「校舎の耐用年数を見据えた適切な時期における」を追加する。

審議の結果、全員異議なく協議第 4 号は承認された。

協議第 5 号 「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について
〈田中統括指導主事が説明〉

審議の結果、全員異議なく協議第 5 号は承認された。

協議第 6 号 新規共催・後援申請について
1 件の共催・後援申請について
〈No. 1 について石黒社会教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

怪我や事故に関するイベント保険の加入について伺う。

○社会教育課長（石黒 昭彦）

参加費無料のイベントということもあり、申請者で特段の保険の加入はないため、参加者自身で対応いただくこととなる。

審議の結果、全員異議なく協議第 6 号は承認された。

6 議 案

議案第 2 号 燕市教育委員会附属機関の委員の報酬に関する要綱の一部改正について

〈関根学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 2 号は原案どおり議決された。

議案第 3 号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

〈関根学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 3 号は原案どおり議決された。

追加議案

議案第 5 号 分水北小学校および島上小学校の今後の在り方に関する方針
について

〈関根学校教育課長が説明〉

○委員（斎藤 純郎）

今後、本方針に基づいて、統合への歩みを進めてほしい。その過程においては、それぞれの小学校区の皆様への説明や情報発信を丁寧に行っていただきたい。

統合準備会では、より良い教育環境についての研究を進めてほしい。

教育委員会として、将来、統合して良かったと、地域の皆様からお話をいただけるように、取り組んでいかなければならない。

審議の結果、全員異議なく議案第 5 号は原案どおり議決された。

7 その他

(1) 教員の業務量の適切な管理と健康等を確保するための措置を実施
するための計画の策定等について（案）

○委員（斎藤 純郎）

部活動の地域展開について、今後も進んで取り組んでいかなければならないと思う。学校徴収金の徴収管理の公会計化についても、難しい部分もあるが、積極的に取り組んでいく必要がある。

文部科学省の地方教育アドバイザーの方からも、全国の先進事例を学び、教員の業務量の管理等について適切に取り組んでほしい。適宜、計画の見直しもしながら、実行力のある計画にしてほしいと思う。

○教育長（小林 靖直）

いただいた指摘や助言をふまえながら、検討して進めていく。今後も定例教育委員会での協議や総合教育会議の際にも報告していくこととなるので、引き続きお願いしたい。

8 閉 会 午前9時56分

燕市教育委員会会議規則(平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号) 第 17 条第 2 項
の規定により会議録に署名する。

令和 8 年 3 月 27 日

教 育 長 小林靖直

教 育 委 員 中野信男

教 育 委 員 斎藤純郎

教 育 委 員 小林恵子

教 育 委 員 上田佳澄

教 育 委 員 渡邊 愛

会議録作成職員 伊藤 崇人